

携帯黒電話 Bluetooth 取扱説明書

目次

1	使用前の準備	1
1.1	充電	1
1.2	Bluetooth 機器の登録（ペアリング）と接続	1
2	通常の使用方法	3
2.1	着信	3
2.2	発信	3
2.3	フッキング	4
2.4	リダイヤル	4
2.5	短縮ダイヤル	4
2.6	受話器・送話器の音量調節	5
2.7	トーン信号の送出	5
2.8	Bluetooth の接続	6
2.9	Bluetooth の切断	8
2.10	スマートフォンの通話アプリ（Skype, LINE 等）での通話	9
2.11	タイマー機能	10
2.12	バッテリー残量の確認	10
2.13	ベルテスト	10
3	各種モード設定	11
3.1	充電速度・充電完了ベルの設定	11
3.2	リダイヤル機能のモードの設定	12
3.3	オフフック時自動接続の設定	12
3.4	常時自動接続の設定	12
3.5	マナーモードの設定	12
3.6	ダイヤル終了から発信までの待ち時間の設定	12
3.7	再起動・リセット	13
4	付録	14
4.1	電波法の認証について	14
4.2	仕様	14
4.3	特殊ダイヤル操作一覧表	15

1 使用前の準備

1.1 充電

使用する前に、携帯黒電話のバッテリーを充電して下さい。

黒電話後ろにある充電用コネクタに Micro-USB ケーブルで付属充電器 (AC アダプタ) や PC の USB ポートと接続してください。

コネクタを差し込むと、ベルが「キンコン」と 1 回鳴り、黒電話内蔵バッテリーの充電が開始されます。

バッテリーが完全に無くなっている場合、ベルが鳴るまでに 1 分程度かかることがあります。

充電が完了すると、「キンコン」が 2 回鳴ります。

充電完了ベルを鳴らしたくない場合や、出力電流の小さな AC アダプタ等を使用する場合には、3.1 節に従って充電完了ベル・充電速度の設定をしてください。

※充電ケーブルを差し込んだ状態で、コネクタに強い力や衝撃をかけないでください(特に上下方向)。抜き差しする際には、上下には揺すらないでください。



1.2 Bluetooth 機器の登録 (ペアリング) と接続

以下の手順に従って Bluetooth 機器 (携帯電話) の登録 (ペアリング) と接続を行って下さい。

- 1) 受話器を置いたまま「81」をダイヤルしてください。(機器番号1番に登録します。最大3台まで登録でき、2番～3番に登録するには「82」～「83」をダイヤルして下さい)。

ベルが『「キンコン」1回 (しばらく休み)...』と鳴り続けます。



「81」をダイヤル

- 2) 以下の手順に従って携帯電話から、携帯黒電話の検索を行って下さい。

・ iPhone の場合 :

「設定」 / 「設定」 - 「一般」の「Bluetooth」設定画面にて Bluetooth をオンにして、設定画面を表示したままにしておいてください。

「その他のデバイス」のところに「kurodenwa」が表示されたら、検索完了です。

・ Android 携帯・フィーチャーフォン (Android 搭載) の場合 :

「設定」 / 「設定」 - 「無線とネットワーク」の「Bluetooth」にて Bluetooth をオンにして、設定画面を開いたままにしておいてください。(Android のバージョンが古い場合は「機器の検索」や検出アイコンをタップするか、メニューの「更新」を選ぶ必要があります)。

「kurodenwa」が表示されたら、検索完了です。

・ フィーチャーホン (Android 非搭載) の場合 :

「メニュー」 - 「LifeKit」 - 「Bluetooth」 / 「メニュー」 - 「便利ツール」 - 「Bluetooth」 / 「メニュー」 - 「設定」 - 「Bluetooth」 などにある、「検索」「新規機器登録」などのメニューを選択して下さい。

「kurodenwa」が表示されたら、検索完了です。



携帯電話から
検索・接続操作

- ・WILLCOM/Y!mobile の携帯電話 (PHS) の場合 :

待ち受け画面から決定ボタン押し、「Bluetooth」メニュー画面から、「親機モードで接続」の操作を行って下さい。

機種によってはさらに「登録機器一覧(親機)」などを選択し、「検索」を行ってください。

「kurodenwa」が表示されたら、検索完了です。

※検出が成功するまで数回繰り返し操作する必要がある場合があります。

- 3) 検出された「kurodenwa」に対して以下の手順で、登録・接続操作をしてください。

- ・iPhone・Android 携帯・フィーチャーホン(Android 搭載)の場合 :

検索された「kurodenwa」をタップしてください。

- ・フィーチャーホン(Android 非搭載)の場合 :

検索された「kurodenwa」に対して「登録」「接続」などの操作を行って下さい。

※携帯電話に認証や接続するかどうかのメッセージが表示された場合には許可して下さい。

※携帯電話に端末暗証番号を入力する画面が現れた場合には、携帯電話本体の暗証番号を入力して下さい。(下記の Bluetooth パスキーとは異なります)。

※携帯電話にパスワード・パスキー(PIN)入力画面が現れた場合には「0000」を入力して下さい。

- 4) 携帯電話の種類により、さらに接続操作をする必要があります。

- ・フィーチャーホン(Android 非搭載)の場合、メニューを一段階戻り、「機器リスト・接続・切断」メニューなどから「kurodenwa」に対して接続操作をしてください。

- ・それ以外の携帯電話では、前項の機器の登録・認証をすると自動的に接続される場合もあります。

- 5) ベルが最後に「キンコン」と鳴り、以後鳴り止んだらペアリングおよび接続は完了です。

ペアリング・接続作業を中止するには : 受話器を置いて下さい。

トラブルシューティング : 携帯電話が「kurodenwa」を検出できない場合 :

- ・携帯電話の種類によっては(登録機器リストと新規機器登録のメニューが分かれている場合などに)、既に「kurodenwa」がリストに登録されている場合は、新規機器登録メニューで検出・検索できない場合があります。一旦機器リストにて登録を削除してから、再度検出・検索を行って下さい。(一旦ペアリングした後、該当機器番号に別の機器を登録したり、携帯黒電話のリセット(3.7 節)を行ってペアリング情報が消去されてしまった場合、黒電話側では登録がなく、携帯電話側では登録されているという不整合が生じるためです)。
- ・携帯電話の Bluetooth 機能をオフ・オンしたり、再起動してみてください。

この方法は、ダイヤルした機器番号のペアリングを解除してから、外部からのペアリング・接続要求を受け付けます。

一度ペアリングを行えば、次回からは必要ありません。(通常の使用では、Bluetooth の接続・切断(2.8 節、2.9 節)を行うだけです)。

電源が切れても、ペアリング情報は保存されています。リセット (3.7 節)を行った場合にはペアリング登録情報が消去されます。

2 通常の使用方法

2.1 着信

最大2台までの携帯電話と Bluetooth 接続し、同時に待ち受けできます。

携帯電話に着信があると黒電話のベルが鳴ります。

(黒電話がマナーモードに設定してある場合には鳴りません。(3.5 節参照))

- ・受話器を上げると通話を開始できます。受話器を置くと通話が終了します。
- ・着信拒否をするにはフッキング (2.3 節参照) をしてください。
- ・受話器を上げているときに着信があった場合にもベルが鳴ります。フッキング (2.3 節) することにより通話を開始することができます。

2.2 発信

受話器を上げて、受話器から「ツー」という連続音がするのを確認してください。

(この際、「ツー・ツー…」という断続音が聞こえたら、携帯電話と Bluetooth での接続ができていません。ペアリング(1.2 節) および Bluetooth の接続(2.8 節)の操作が完了しているかを確認してください。

次に、黒電話のダイヤルを回して電話番号を入力します。しばらく経つと自動的に発信します。

(ダイヤル終了から発信までの待ち時間は設定できます。3.6 節を参照してください。また、ダイヤル終了後にフッキング(2.3 節)をすると、待たずにすぐに発信します)。

2 台の携帯電話が Bluetooth で接続されている場合には、機器番号の小さい方の携帯電話を使って発信します。

同じ番号に連続して発信して相手が応答しないことが何度か続いた場合、発信できない場合があります(携帯電話会社による再発信規制)。その場合は、受話器から「ツー・ツー・ツー・ツー…」という音が鳴ります。しばらく(3 分程度かかる場合もあります)時間をあけてから再度ダイヤルしてください。

この場合にも、携帯電話本体の操作による発信は可能です。

または、携帯電話を再起動すると、発信可能になります。

また、携帯電話本体の操作により発信後、黒電話で通話することもできます(携帯電話の種類により出来ない場合や、操作が必要な場合があります)。*1

黒電話の受話器は置いたまま、携帯電話で発信操作をした後、少し(2,3 秒)経ってから黒電話の受話器を上げてください。受話器から発信中の音が聞こえ、以後は通常の発信と同じです。

*1 携帯電話の機種により、通話中に音声パスを Bluetooth に切り替える操作が必要になる場合があります。携帯電話の通話画面やメニューで操作してください。

2.3 フッキング

受話器が上がった状態の時に電話がかかってきた場合に電話を取るには、受話器を置いて（または指でフックを押して）、0.5秒以内に離してください。

その他の用途でもフッキングを使用する場合があります。
 (リダイヤル・ダイヤル後すぐに発信など)



受話器を置いた状態の時に電話がかかってきた場合に着信拒否をするには、受話器を上げて、0.5秒以内に置いてください。



2.4 リダイヤル

以下の操作により、黒電話から最後に発信した電話番号に再発信できます。

1) 受話器を上げて、「ツー」という音を確認した後、フッキング（フックを押して、0.5秒以内に離す）をしてください。（フッキング前には何もダイヤルしないでください）。

2) 受話器を上げて、「ツー」という音を確認した後、ダイヤル「4」を回します。（その後フッキングをするとすぐにリダイヤルを開始します）。

リダイヤル機能を有効にするには、設定が必要です。（3.2節参照）。

※出荷時には、リダイヤル機能は無効に設定されています。

使用できる電話番号は31桁までです。



2.5 短縮ダイヤル

以下の操作により、Bluetoothで接続した携帯電話の電話帳に登録した電話番号に発信できます。（ただし、Android搭載のスマートフォン、Android搭載のフィーチャーホンでは正常に動作しませんので、使用しないでください）。

受話器を上げて、「ツー」という音を確認した後、「0」～「9」をダイヤル開始後、指止めで止めます。ベルが「キンコン」と鳴ったら離します。

ダイヤルした0～9と、発信する電話帳との対応は以下の通りです。



- ・ iPhone の場合：電話アプリの「よく使う項目」に登録した電話番号の一番上(0番目)から順に0～9番目に対応します。
- ・ フィーチャーホン(Android非搭載)の場合：メモリ番号0000～0009に対応します。

2.6 受話器・送話器の音量調節

通話中に以下の操作をすると音量を調節できます。その都度受話器から「ブ」と鳴ります。(調節範囲を超えている場合には鳴りません。)

以下の番号をダイヤル後、指止めで止めます。ベルが「キンコン」と鳴ったら離します。

「3」: 受信 音量アップ ↑

「4」: 受信 音量ダウン ↓

「5」: 送信 音量アップ ↑

「6」: 送信 音量ダウン ↓



設定した音量は記憶され、次回以降の通話にも有効です。

電池切れになっても記憶されています。リセット (3.7 節) をすると出荷時の設定に戻ります。

2.7 トーン信号の送出

通話中に以下の操作をすると、トーン信号 (ピポパ音) を通話先に送出することができます。

送出した際には受話器から「ブ」と鳴ります (こちら側にはピポパ音は鳴りません)。

通話中に「0」～「9」をダイヤル: トーン信号0～9を送出

通話中に「1」をダイヤル後、指止めで止めます。ベルが「キンコン」鳴ったら離す:「*」を送出

通話中に「2」をダイヤル後、指止めで止めます。ベルが「キンコン」鳴ったら離す:「#」を送出

※通話先が自分の携帯電話と同じキャリアの場合 (例: 自分の携帯電話も、通話先の携帯電話もドコモの場合など)、トーン信号は送出されない場合があります。通話先が各種サービス会社の自動応答システムの場合には、問題ありません。

2.8 Bluetooth の接続

携帯電話と Bluetooth の接続をするには、以下の通り 4 つの方法があります。

※下記の手順で接続をするには、まずペアリング (1.2 節) を行っておく必要があります。

※既に別の携帯電話と Bluetooth の接続をしている場合は、まずその携帯電話と切断 (2.9 節) を行ってから新たな携帯電話と接続を行ってください。

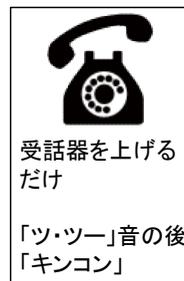
最大 2 台の携帯電話と接続し、同時待ち受けできます。

① 黒電話の操作により接続する方法 (その 1) ←通常はこの方法が便利

受話器を上げると最後にペアリング操作または接続操作をした「1」「2」「3」のいずれかの携帯電話に接続します。

受話器を上げると「ツ・ツー…… ツ・ツー……」の繰り返し音が鳴ります。携帯電話との接続が完了するとベルが「キンコン」と鳴り、受話器の音が「ツー」に変わります。

※この操作による接続を行うには、「オフフック時自動接続」機能がオンになっている必要があります。本機能は出荷時にはオンになっていません。設定を変更するには 3.3 節を参照して下さい)



② 黒電話の操作により接続する方法 (その 2) ←接続する携帯電話を指定したい場合

受話器を置いたまま、接続したい機器番号「1」「2」「3」のいずれかを回して下さい。

「キンコン… キンコン…」と繰り返し鳴り続けます。

接続が完了すると「キンコン」と一度鳴り、ベルが鳴り止みます。

既に携帯電話と接続している状態で別の機器番号をダイヤルすると「キンコン」が 3 回鳴り、エラーとなります。別の携帯電話に接続したい場合には、一旦切断してから (2.9 節)、本節の接続操作を行ってください。



接続を中止するには、受話器を上げてください。ベルが鳴り止み、接続作業が中止されます

③ 携帯電話の操作により接続する方法 ←接続する携帯電話を指定したい場合

携帯電話から携帯黒電話（名称は「kurodenwa」）を選び、「接続」の操作を行って下さい。（操作方法は携帯電話によって異なります）。

接続が完了すると、黒電話のベルが「キンコン」と鳴ります。



④ 常時自動接続の設定をする方法 ←可能な限り常時接続しておきたい場合

Bluetooth の接続が切れている間、携帯黒電話から常時接続を試みます。ペアリングが完了している携帯電話に対し、順に接続を試みます。

そのため、何らかの理由により Bluetooth の接続が切れても、再度接続可能な状態・電波到達範囲に入ると、自動的に接続されます。

接続が完了していると、受話器を上げた時に「ツー」音が鳴ります。

接続が完了していない場合には受話器を上げた時に「ツー・ツー」音が鳴ります。

この方法で接続するには「常時自動接続（3.4 節）」が有効になっている必要があります。出荷時にはオフになっています。

※この機能を使用すると携帯黒電話の消費電流がおよそ 1.5 倍に増え、バッテリーの持続時間が短くなります。

2.9 Bluetooth の切断

黒電話での通話を使用しない場合には、以下の手順で Bluetooth の接続を切断して下さい。
以下の方法があります。

また、既に接続している携帯電話とは別の携帯電話に接続したい場合も、以下の方法で接続を一旦切断してから、接続操作(2.8 節)を行って下さい。

① 黒電話の操作により切断する方法

- ・全ての接続を切断する場合：

受話器を置いたまま、黒電話のダイヤル「4」または「4 4」を回して下さい。

- ・機器番号を指定して切断する場合：

受話器を置いたまま、黒電話のダイヤル「4 1」～「4 3」を回してください
(「4」に続く 2 桁目が機器番号に相当します)。



「4」をダイヤル

ベルが「キンコン、キンコン」と 2 度鳴り、携帯電話との Bluetooth 接続が切断されます。

② 携帯電話の操作により切断する方法

携帯電話から携帯黒電話の名称「kurodenwa」を選び、「切断」の操作を行って下さい。(操作方法は携帯電話によって異なります。この操作ができない携帯電話もあります)。



切断操作

切断が完了すると、黒電話のベルが「キンコン、キンコン」と 2 度鳴ります。

③ Bluetooth の電波が届かなくなった場合には、黒電話のベルが「キンコン、キンコン」と 2 度鳴り、切断されたことを示します。

2.10 スマートフォンの通話アプリ (Skype, LINE 等) での通話

携帯黒電話の通常通話 (回線交換方式) は Bluetooth の HFP (ハンズフリープロファイル) を使用します。

しかし、通話アプリ (Skype, LINE 等) での通話は HFP に対応しておらず、HSP (ヘッドセットプロファイル) で接続されるため、通話アプリの発信・着信の操作を黒電話で行うことができません。Bluetooth (HFP) 接続中の通話アプリでの通話は、以下 1) ~ 5) のような動作になります。

※以下の説明は全てのスマートフォン・OSでの動作を保証するものではありません。場合により、通話アプリの着信時にスマートフォンからも黒電話からも着信音が鳴らない・通話の際に音声通話デバイスの切り替え (スマートフォン本体または黒電話受話器) がうまくいかないなどの不具合が発生することがあります。

1) 通話アプリへの着信時、以下のいずれかの動作になります。

- ・ iPhone : スマートフォンにて着信音が鳴り、スマートフォンにて通話ができます。
この場合、下記 3) の操作にて、黒電話の受話器での通話に切り替えることができます。
- ・ Android : スマートフォンにて着信音が鳴らず、黒電話のベルが「リンリン、リンリン」と鳴ります。
この場合、黒電話の受話器を上げ、さらにスマートフォンで着信操作をすると、黒電話受話器で通話ができます。黒電話の受話器を置くと、下記 4) の通り、スマートフォンでの通話に切り替わります。

2) 通話アプリでの発信操作時、以下のいずれかの動作になります。

- ・ iPhone : スマートフォンにて発信すると、通常通りそのままスマートフォンにて発信・通話ができます。
この場合、下記 3) の操作にて、黒電話の受話器での通話に切り替えることができます。
- ・ Android : スマートフォンにて発信すると発信中音はスマートフォン本体から鳴らず、黒電話のベルが「リンリン、リンリン」と鳴ります。
この場合、黒電話の受話器を上げると発信中音が聞こえ、通話相手が応答すると、黒電話受話器にて通話できます。黒電話の受話器を置くと、下記 4) の通り、スマートフォンでの通話に切り替わります。

3) スマートフォンにて通話中、黒電話の受話器を上げて「1」をダイヤルすると、黒電話受話器にて通話できます。

4) 黒電話受話器にて通話中、受話器を置いても通話アプリの通話は終了せず、スマートフォン本体での通話に切り替わるだけでこちらの声は相手に聞こえていますので注意してください。通話の終了にはスマートフォンでの操作が必要です。

5) スマートフォンや通話アプリによっては、通話画面にて通話に使用するデバイス (スマートフォン本体または黒電話受話器) を切り替えることができる場合があります。

2.11 タイマー機能

携帯黒電話をタイマーとして使用できます。

設定できる時間は1分～99分（1分刻み）です。

タイマーの時間精度はあまり良くありませんので、あくまでも目安として使用してください。

操作方法は以下の通りです。

1) タイマーの設定

受話器を置いたまま、「0」に続けて、2桁の時間（分）をダイヤルしてください。各桁の間は5秒以上空けないでください。5秒以上空けると「キンコン・キンコン」とベルが鳴り、設定が中断されます。

3桁の番号をダイヤルし、タイマーがセットされると「キンコン」とベルが鳴ります。

例：3分を設定する場合、「003」をダイヤルしてください。

設定可能な最大時間は99分（「099」をダイヤル）です。

2) タイマー通知ベル

設定した時間に到達すると、「リン... リン...」とベルが鳴り続け、約30秒後に停止します。

受話器を上げてもベルを止めることができます。

2.12 バッテリー残量の確認

受話器を置いたまま「5」をダイヤルするとベルが「キンコン」と1回から3回鳴り、バッテリー残量を確認できます。

レベルはあくまでも目安で、正確ではありません。

「キンコン」3回：バッテリーレベル：高

「キンコン」2回：バッテリーレベル：中

「キンコン」1回：バッテリーレベル：低

2.13 ベルテスト

受話器を置いたまま「9」をダイヤルすると呼び出し音のベルが鳴ります。

受話器を上げると止まります。

3 各種モード設定

受話器を置いたまま、下記の番号のダイヤルを右へ回した後、指止めのところで3秒ほど一旦止めます。「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後、ベルが「キンコン」と鳴る回数で設定結果を知らせます。

「キンコン」の回数は、1回がYES（有効）、2回がNO（無効・禁止）と考えると分かりやすいです。

設定内容はバッテリー切れになっても保存されます。



ダイヤルし、指止めで止めて「キンコン」と鳴ってから指を離す

3.1 充電速度・充電完了ベルの設定

内蔵バッテリーの充電速度・充電完了ベルの設定をします。

通常は、Micro-USB コネクタに接続された先がPC か AC アダプタかを自動判別し、標準充電(PC の場合) / 急速充電(AC アダプタの場合) を切り替えます。

しかし、自動判別できない場合や、USB ハブから充電する場合等、充電電流をさらに小さくしたい場合にこの設定を行ってください。

「5」のダイヤルを回し、指止めで止めます。「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後、5秒以内に以下の数字を回してください。充電電流値を設定できます。

「5」に続き「1」を回す：強制的に低速充電（最大 100mA）に設定

「5」に続き「2」を回す：強制的に標準充電（最大 500mA）に設定

「5」に続き「3」を回す：強制的に急速充電（最大 1000mA）に設定

「5」に続き「4」を回す：標準／急速充電を自動判別

それぞれの設定を受け付けると、対応した番号の回数（1 / 2 / 3 / 4 回）ベルが「キンコン」と鳴ります。

※出荷時・リセット後には充電速度は「自動判別」になります。

「5」に続き「5」を回すと、充電完了ベルが鳴る・鳴らないが切り替わります。

その後ベルの鳴る回数が「キンコン」1 回で充電完了ベルが「鳴る」、2 回で「鳴らない」です。充電完了ベルを「鳴らない」設定にした場合に、満充電になっているかを確認する方法は以下の通りです。

挿してある充電器を一旦抜き、30 秒以内に再度挿します。その時に、「キンコン」が2回鳴ったら満充電完了の合図です。1 回の場合は充電開始の合図です。

※出荷時・リセット後には充電完了ベルは「鳴る」になります。

3.2 リダイヤル機能の設定

以下の方法で、リダイヤル機能を実行する方法を設定します。

「6」のダイヤルを回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後ベルの鳴る回数と、現在の設定との関係は以下の通りです。

1回：リダイヤル機能無効

2回：フッキング(かばんの中に携帯黒電話を入れて運んだりする際、荷物が当たってフッキングされてしまい、勝手にリダイヤル機能が作動する可能性がありますので注意してください。)

3回：受話器を上げて「4」をダイヤル

4回：フッキングと「4」をダイヤルの両方

※出荷時・リセット後には「リダイヤル機能無効」に設定されます。

3.3 オフフック時自動接続の設定

受話器を上げた際に、自動的にBluetooth接続を開始するかどうかを設定します。(2.8節①)

「8」のダイヤルを回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後ベルの鳴る回数が「キンコン」1回で自動接続「オン」、2回で「オフ」です。

携帯黒電話をかばん等で持ち運ぶ際など、フックが外れて困る場合には「オフ」に設定してください。

※出荷時・リセット後には「オン」に設定されます。

3.4 常時自動接続の設定

ペアリングが完了している携帯電話に自動的に常時接続を試みるかどうかを設定します。

(2.8節④)

「7」のダイヤルを回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後ベルの鳴る回数が「キンコン」1回で常時自動接続「オン」、2回で「オフ」です。

※出荷時・リセット後には「オフ」に設定されます。

3.5 マナーモードの設定

着信ベルを鳴らなくするための設定です。

「9」のダイヤルを回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後ベルの鳴る回数が「キンコン」1回で着信ベルが「有効(鳴る)」、2回で「無効(鳴らない)」です。

※出荷時・リセット後には着信ベルは「有効」になります。

3.6 ダイヤル終了から発信までの待ち時間の設定

ダイヤル速度が遅い電話機や、ダイヤルに時間がかかりダイヤル途中で発信してしまう場合には、以下の設定でダイヤル終了から発信までの待ち時間を長くすることができます。

「5」のダイヤルを回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後、5秒以内に「7」を回します。

その後ベルの鳴る回数が「キンコン」1回で待ち時間「延長」、2回で「標準」です。

※出荷時・リセット後には「標準」に設定されます。

3.7 再起動・リセット

携帯黒電話に何らかの異常が発生した場合、以下の手順にてまず再起動を試みてください。
それでもだめな場合はリセットを試みてください。

1) 再起動：(指止めダイヤル0, ダイヤル0)

受話器を置いた状態でダイヤル「0」を回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。その後、5秒以内に再度「0」をダイヤル（指止めで止めない）してください。すると、「キンコン」が4回鳴って、携帯黒電話の内部回路が再起動します。(各設定は保持されます。)

再起動後、操作可能になるまでに5秒程度かかります。

2) リセット：(指止めダイヤル0, ダイヤル9, ダイヤル9)

受話器を置いた状態でダイヤル「0」を回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後、5秒以内に「9」をダイヤル（指止めで止めない）してください。

そして再度、5秒以内に「9」をダイヤル（指止めで止めない）してください

すると、「キンコン」が5回鳴って、携帯黒電話のリセットがかかります。

リセット後、操作可能になるまでに5秒程度かかります。

リセット後は、各種モード設定が以下の通り、出荷時の状態に戻ります。

- ・Bluetooth のペアリング登録情報が消去されます
- ・モード設定：

充電速度：	自動判別
充電完了ベル：	鳴る
マナーモード：	鳴る
リダイヤル：	無効
オフフック時自動接続：	オン
常時自動接続	オフ
ダイヤル待ち時間：	標準
- ・受話器・送話器の音量が出荷時の状態に戻ります

4 付録

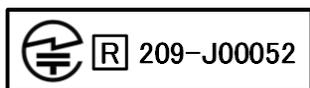
4.1 電波法の認証について

本製品は日本の総務省の工事設計認証を受けた Bluetooth モジュールを内蔵しています。モジュールの情報は以下の通りです。

認証製品名	WT32/Class 2 Bluetooth Module
認証申請者名:	Blue Giga Technologies Oy
認証番号	209-J00052

認証マークはモジュール刻印と同じものを機器外部や取扱説明書に記載できることが法律で認められています。

必要な場合は以下のラベルをコピーして電話機の底面等に貼り付けてください。



4.2 仕様

Bluetooth 仕様	Ver2.1+EDR Class2 (通信距離最大10m、実用3m程度)
Bluetooth 対応プロファイル	HFP 1.6 (ハンズフリープロファイル1.6)
Bluetooth 機器ペアリング台数	最大3台
Bluetooth 同時待ち受け台数	最大2台
電波法関連	総務省の工事設計認証取得済みモジュールを内蔵
電源	リチウムイオン充電電池 3.7V 1900mAh 大容量化可能 (オプション)
待ち受け時間 (Bluetooth 接続時)	最大約6日間 (電波環境や携帯電話との距離により変わります)
内蔵バッテリー充電時間	標準充電: 5時間程度 急速充電: 4時間程度 常時 AC アダプタ接続での使用も可能 (電池の過充電にはなりません)。
充電用電源入力	Micro-USB Micro-B レセプタクル (メス) コネクタ ・標準充電: 5V 最大500mA ・急速充電: 5V 最大1.0A 充電速度は自動切り替え。手動設定も可能。
付属品	取扱説明書 (本書) Micro-USB ケーブル USB 充電器 (AC100V 用)

4.3 特殊ダイヤル操作一覧表

受話器を置いた状態		
番号	普通にダイヤル	指止めで止める※
1	Bluetooth 接続 機器番号 1	ペアリング解除 機器番号 1
2	Bluetooth 接続 機器番号 2	ペアリング解除 機器番号 2
3	Bluetooth 接続 機器番号 3	ペアリング解除 機器番号 3
4	Bluetooth 切断 (1 桁, 2 桁)	
5	バッテリー残量確認	充電速度・充電完了ベル設定 (2 桁)
6		リダイヤル許可モード設定
7		常時自動接続設定
8	ペアリング・接続 (2 桁)	オフフック時自動接続の設定
9	ベルテスト	マナーモード設定
0	タイマー機能 (3 桁)	再起動・リセット (2 桁, 3 桁)

受話器を上げた状態				
番号	発信前に		発信後、通話中に	
	普通にダイヤル	指止めで止める	普通にダイヤル	指止めで止める
1	通話アプリ接続	短縮：0001 番	トーン信号送出：1	トーン信号送出：*
2	(予約)	短縮：0002 番	トーン信号送出：2	トーン信号送出：#
3	(予約)	短縮：0003 番	トーン信号送出：3	受信音量アップ
4	リダイヤル	短縮：0004 番	トーン信号送出：4	受信音量ダウン
5		短縮：0005 番	トーン信号送出：5	送信音量アップ
6		短縮：0006 番	トーン信号送出：6	送信音量ダウン
7		短縮：0007 番	トーン信号送出：7	
8		短縮：0008 番	トーン信号送出：8	
9		短縮：0009 番	トーン信号送出：9	
0		短縮：0000 番	トーン信号送出：0	

※「指止めで止める」とは、次の操作です。各番号のダイヤルを右へ回した後、指止めのところで3秒ほど一旦止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。